



平成7年(1995年)

阪神淡路大震災への派遣

～災害拠点病院に指定～



▲関係機関と共同しながら被災者の救護を行う福井赤十字病院救護班



▲各病院の救護班が日本赤十字社兵庫県支部に参集した



震災発生から約1年後に、現地でボランティア活動を行っている方を招いて、病院で講演を行いました



平成7年(1995)1月17日、マグニチュード7.3の阪神淡路大地震が発生しました。その翌日から2月20日まで、福井赤十字病院は医師4名・看護師10名・事務員8名による4班の救護班を派遣しました。また、神戸赤十字病院に看護師2名の派遣を行いました。この阪神・淡路大震災の教訓をもとに、災害時に中心的な役割を担う病院として災害拠点病院の制度が創設。福井赤十字病院は平成10年(1998)に災害拠点病院の指定を受け、災害対応に尽力しています。

平成7年の出来事

- ・マイクロソフトのMicrosoft Windows 95が発売
- ・「今年の漢字」が始まる。
- ・日本での開催が初となる第4回APEC首脳会議が大阪にて開催される
- ・オリックスが「がんばろうKOBE」を掲げてパリーグ優勝を果たす

